



第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

本市では、平成 24 年度からWHO（世界保健機関）が推進するセーフコミュニティに取り組んでおり、このセーフコミュニティでは、データ等の科学的な分析に基づき、事故等の防止策を検討・実施することとしており、既存の統計データ等とともに、本市の事故等の防止策を検討・実施するために必要な基礎データを取得することを目的とする。

2 調査地域

鹿児島市全域

3 調査方法

	乳幼児	小中学生	一般	高齢者	合計
調査対象	0歳～6歳で未就学児の男女	小学生、中学生の男女	16歳～64歳の男女	65歳以上の男女	
回答者	保護者回答	保護者回答（一部設問については、子どもと一緒に保護者が回答）	本人回答（できない場合は、家族などが可能な範囲で聞き取り等を行い回答）	本人回答（できない場合は、家族などが可能な範囲で聞き取り等を行い回答）	
調査方法	市内に居住する市民を無作為に抽出し、郵送による発送・回収				
配布数	2,000人	2,000人	2,000人	2,000人	8,000人
有効回答数	1,316人	1,274人	943人	1,420人	4,953人
有効回答率	65.8%	63.7%	47.2%	71.0%	61.9%

4 調査期間

平成 24 年 8 月 27 日（月）～平成 24 年 9 月 10 日（月）

5 調査の基準日

平成 24 年 8 月 1 日（水）

6 調査結果利用上の注意

- ① 割合は百分比の小数点第2位を四捨五入しているため、選択肢の合計は100%と一致しない場合がある。
- ② 複数回答の設問における、各選択肢の割合の合計は、原則として100%を超える。
- ③ 割合は、それぞれの設問の回答人数を基礎としている。
- ④ 属性別特徴における人数及び割合については、性別・年齢（学年）を尋ねる設問で無回答だった方を除いている。